

2013年1月15日 vol.05



# 緑 GO GREEN でいこう

緑の党は、グローバルグリーンズ憲章の  
6つの政治理念、

- ①エコロジカルな知恵
- ②社会的公正・正義
- ③参加民主主義
- ④非暴力・平和
- ⑤持続可能性
- ⑥多様性の尊重

に基づき、「緑の社会ビジョン」の実現をめざします。

国政に緑の議席を!

ついに2013年がスタートしました。市民による市民のための政治からますます遠ざかっている国政ですが、風穴を開けるチャンスは近付いています。緑の党が市民運動から誕生したことや世界と繋がっているという強みを十分に發揮して、必ず参院選を突破したいと思います。

2013年を日本の政治の歴史的転換点にしましょう!



すぐろ奈緒



高坂 勝

「変革には少なくとも20~30年かかるから、一喜一憂しない」と私はよく言います。歴史を見れば然り。だから焦らない。未来に成熟社会は必然。なのにせっかちではオカシイ。世間が左右にぶれたり一進一退しても、腹を据えて一步一歩、土に歩む。偉人の千歩より千人の一歩。2013年も緑のビジョンの先へ、高坂も、一歩します。

## 共同代表 新年のご挨拶

今年夏の私たちの挑戦は、私たち自身だけでなく、将来の世代と地球の未来にとって大切な一歩です。自然や命とつながりながら、誰もが心ゆたかに暮らせる社会を目指し、地域に根ざしつつ、それぞれの夢と力を集め、希望に向けて大きく踏み出しましょう。私も新潟の地域と全国を回ってがんばります。



中山 均



長谷川羽衣子

今年は「緑の党」として、はじめて国政選挙に挑みます。それに向け、共同代表や全国協議委員をはじめ、一人ひとりが力量を高める場をつくり、切磋琢磨していきたいと考えています。世界一とも言われる供託金の高い壁を乗り越えることは容易ではありませんが、原発のない未来と本当の民主主義の実現のために、みなさんと共に、あきらめることなく前に向かって歩き続けます。どうか今年も宜しくお願い致します。

## < 今号の内容 >

参院選チャレンジ情報	公認候補 第2次選考スタート!
オピニオン	正当な市民活動の不当逮捕に抗議
衆院選報告	市民自身の手で政治を切り拓こう
報道情報	衆院選 山本太郎さん報道
世界のみどり	ドイツ党大会に参加／フランス書記長来日
みどりの仲間	みどり福岡／緑の党・九州連絡協議会

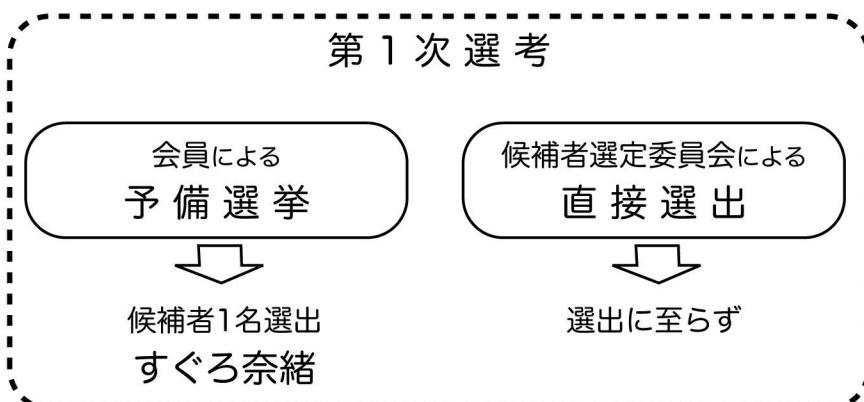
参院選チャレンジ情報

公認候補 第2次選考スタート！

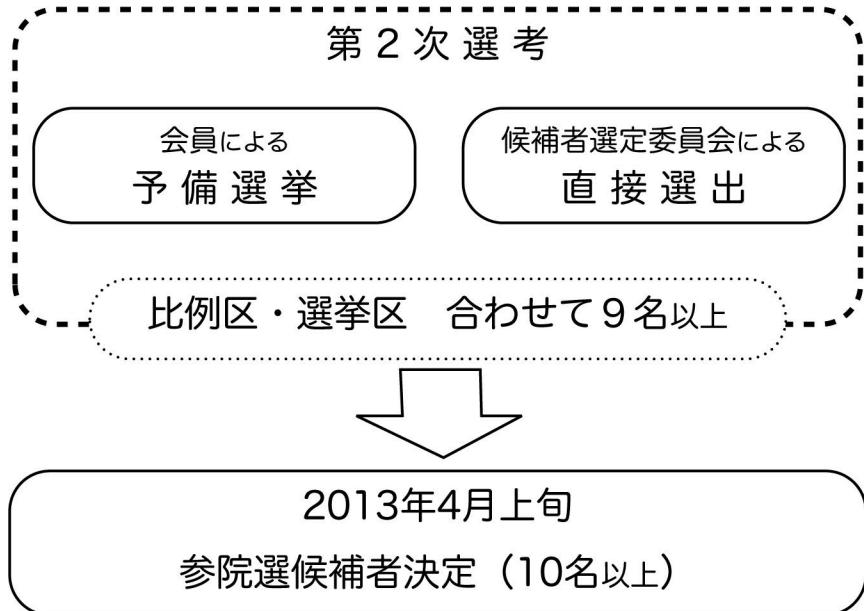
# 7月参議院選挙 緑の党を国会へ

7月の参議院選挙の候補者を選出する、第2次選考がいよいよ始まります。第1次選考では3名の選出が想定されていましたが、予備選挙当選者1名の選出に留まりました。第2次選考においては、政党として挑戦する要件である10名を立てるために、9名以上が選出されることとなります。その中で、会員が立候補し、会員の選挙によって選出する第2次予備選挙では、4名を選出することとなりました（2013年1月13日全国協議会にて議決）。それぞれの地域で、予備選挙を盛り上げながら、みどりの仲間と選挙資金を集めていきましょう！

● 2012年9月～11月



● 2013年1月～3月



第2次予備選挙日程

1/20～2/15

立候補者募集期間

2/16～3/5

選挙期間

3/6～3/13

投票期間

## すぐろ奈緒共同代表、第一次公認候補予定者に決定

2013年7月の参議院選挙に向けて緑の党は、すぐろ奈緒（東京都在住、緑の党共同代表）を、比例代表選挙（全国区）の第一次公認候補予定者として決定しました。会員による予備選挙により選出されたものです。

### ■すぐろ奈緒 プロフィール

- 1979. 誕生。幼少期は東京都足立区で育つ。7歳～栃木市へ。
- 1993. 14歳。栃木市の水源地で産業廃棄物処分場計画が持ち上がり、学校や地域で署名活動に奔走。最終的に計画は撤回。
- 2002. イラク反戦「WORLD PEACE NOW」に参加。以降、有事法制など戦争法案に反対する活動を継続。劣化ウラン禁止（NO DU）キャンペーンにも取り組む。脱原発活動を開始。
- 2003. 東洋大学法学部卒業。在学中は、少年法から子どもの問題を考える「子どもと法21」に参加し、人権や教育問題を学ぶ。
- 2004. 「教科書ネット21」主催の日韓交流キャンプに参加し、ナヌムの家やソデムン刑務所を訪れる。また、中国残留邦人、ヒロシマ・ナガサキ被爆者、元日本兵、ひめゆり部隊など様々な戦争体験者と出会い、戦争の実態と戦後補償問題を学ぶ。
- 2004～2006. 参議院選挙で「みどりの会議」小林一朗氏を支援。「みどりのテーブル」に入会。NGO「フォーラム平和・人権・環境」勤務（辺野古基地問題や六ヶ所村再処理工場、横須賀の原子力空母など、各地の平和や原発関連の市民運動と連携して活動）。週1日は障がい者ヘルパーの仕事も兼務し、担当していた方と一緒に「障害者自立支援法」について学び、法制化に反対するデモや集会にも参加。
- 2004～2007. 「教育基本法の改革を止めよう！全国連絡会」運営委員をつとめる。
- 2007. 杉並区議会議員 初当選。
- 2008. 「グローバルグリーンズ第2回大会inブラジル・サンパウロ」参加。コスタリカ共和国を視察。人権・平和・環境への先進的な取り組みを学ぶ。
- 2010. 「みどりの未来」共同代表に就任。
- 2011. 杉並区議会議員 2期目当選。
- 2012. 「緑の党」共同代表に就任。



1円1,000円で  
10万円めざそう！

**1**

**選挙資金  
億円カンパ**

2013.1.7現在

**2211万1183円**

日本には、既成政党に有利な制度があります。世界一高い供託金という政党政治への参入障壁です。供託金とは選挙運動費用ではなく、選挙への参加料です。参議院選挙では、候補者1人あたりの供託金が、比例区で600万、選挙区300万です。活動資金も含め1億円は必要です。市民の力で目標を達成したいと思います。ぜひご協力をお願いします！

振込口座：郵便振込（ゆうちょ銀行）口座

【口座番号】00100-9-262967

【口座名称】緑の党

一般金融機関からゆうちょ口座へお振込みの場合

【口座種別】当座預金

【店名】〇一九（ゼロイチキュウ：店名の読み）

【口座番号】262967

**オピニオン****正当な市民活動の不当逮捕に抗議**

緑の党では、時々の政治・社会状況に対して、緑の視点からの声明や見解、論説、談話などを発表しています。

**◆【談話】正当な市民活動への不当な逮捕に抗議します**

(2012年12月28日 緑の党 共同代表 長谷川羽衣子)

下地真樹准教授（阪南大学）らが12月9日に大阪府警によって不当に逮捕され、すでに3週間近くも勾留されています。12月28日になってようやく下地氏ら2名が処分保留で釈放されました。1名が起訴されてしまいました。

下地准教授ら市民有志は、小さな子どもを持つお母さんたち、とりわけ福島・東北・関東から関西に避難移住して来られた人たちの不安な気持ちに寄り添い、原発に反対し、放射能汚染の拡散を防ぐため非暴力の抗議活動を続けておられました。逮捕の理由とされたのは10月17日の街頭での平和的なアピールでした。

逮捕容疑が「威力業務妨害」というのはこの種の不当逮捕でよく見られますが、現行犯ではなく

く、2か月近くも後に逮捕されるというのは異例です。膨大な人々の健康と財産に多大な被害を及ぼした福島原発事故の責任者が一切罪に問われない一方で、その被害の拡大と事故の再発を防ごうと声を上げた市民がなぜ逮捕・勾留されなければならないのでしょうか。本件において、そもそも逮捕の必要性があったとは考えられません。

これは市民の活動に対する明らかな弾圧であり、憲法で保障された「表現の自由」の侵害に他なりません。私たちは、今回の不当な逮捕に関与した捜査当局や裁判所、とりわけ起訴を敢行した検察庁に対し強く抗議すると共に、謝罪及び未だ勾留されている人の即時釈放を求めます。

**東京都知事選 宇都宮健児候補敗れる**

昨年12月に行われた東京都知事選で、緑の党Greens Japanは、宇都宮健児候補を支持しました。宇都宮さんは「脱原発統一候補」「人にやさしい東京」を掲げて選挙戦を闘い、96万8960票を得ましたが、残念ながら落選となりました。

緑の党は、他党にさきがけて最も早く宇都宮さんへの支持を表明し、選挙戦の中核を担うスタッフを派遣しました。厳しい結果にはなりましたが、脱原発や反貧困をテーマに活動する市民との信頼関係を築くことができた点は、今後につながる成果といえます。

**衆院選報告****市民自身の手で政治を切り拓こう**

2012年12月16日投開票が行われた衆議院総選挙に対して緑の党が発表した声明・見解とともに、山本太郎さん（東京8区）のレポートを掲載します。

**◆【声明】脱原発を促進する総選挙へ**

(2012年11月25日 緑の党)

今回の衆院選にあたり、緑の党は下記のような立場を声明として明らかにしました。

12月16日投票の総選挙は、脱原発か原発推進かをめぐる重大な選挙です。政権復帰をめざす自民党は原発ゼロを真っ向から否定し、日本維新の会も太陽の党と合流して脱原発の旗を下ろしました。総選挙の争点を曖昧にする動きがマスメディアを含めて強まっていますが、私たちは脱原発か否かこそが真の争点であることを訴えます。

私たち緑の党は総選挙において、既成政党とは異なる脱原発の民意の受け皿となる政治的枠組み（投票先）をつくり出すために、東京比例ブロックに脱原発の市民運動と共同して候補者を擁立する努力をしてきました。しかし、その試みは、東京都知事選と同時になったこともあり、私たちの政治的力量不足のゆえに、残念ながら断念の方向性を確認せざるをえませんでした。

間近に迫る総選挙、自民党など原発推進政党と対抗して脱原発を促進するために、緑の党は以下の方針で臨むことを決定しました。

**①脱原発を推進する候補に投票を**

自民党と日本維新の会以外の政党は、実現時期の違いはありますが「原発ゼロ」を掲げています。緑の党は、脱原発を促進する候補への投票を呼びかけますが、どの候補者が本気で脱原発を実現しようとしているか否かは、明確ではありません。

原発即時ゼロか脱原発か原発推進か、候補者のこれまでの原発政策や選挙での公約をチェックする運動が多様な形で広がっています。緑の党は、有権者が脱原発を促進する候補者を的確に見極めて投票できるように、「脱原発つうしんぼ」をはじめとする候補者チェックの運動を全面的に支援します。

**②脱原発・みどりの候補者を応援しよう**

いくつかの政党は「脱原発=原発ゼロ」を掲げています。しかしその中身は政党によって様々で、候補者によっても違います。また、脱原発を掲げていても、経済成長至上主義であり、かつ参加民主主義に積極的ではない政党や候補者もあります。

緑の党は、「原発即時ゼロ」を選挙公約とする候補者、そして脱「経済成長至上主義」で参加民主主義を促進する脱原発・みどりの候補者の積極的応援を訴えます。しかし同時に、「原発即時ゼロ」を主張していないくとも、脱原発を一步でも前へ進める候補者への支援も訴えます。

今回の総選挙は原発だけでなく、消費税増税、TPP参加も争点となっています。緑の党は、消費税増税とTPP参加に反対です。脱原発、消費増税反対、TPP不参加、そして参加民主主義に積極的な、緑の党の基本的立場に近い候補者への応援と投票を訴えます。

### ◆緑の党の推薦・支持候補リスト

緑の党は、12月4日公示で16日投開票の衆議院選挙にむけて、推薦・支持候補者リストを発表しました。

私たちは、今回の総選挙を脱原発か原発推進かを決める重大な選挙であると位置づけ、「声明：脱原発を促進する総選挙へ」（11月25日）を発表し、自民党など原発推進政党と対抗して脱原発を促進するために「①脱原発を推進する候補に投票を」「②脱原発・みどりの候補を応援しよう」との立場を明らかにしてきました。

さらに、今回の総選挙は原発だけでなく、消費税増税、TPP参加も争点となっていることから、脱原発、消費増税反対、TPP不参加、そして参加民主主義に積極的な緑の党の基本的立場に近い候補者への支持・応援することを呼びかけ、調整を進めてきました。

また、比例区については、緑の党がめざす「脱原発・即時廃炉」を一刻も早く実現するために「日本未来の党」などのできるだけ早い時期の脱原発を目指す政党を応援しました。

### 緑の党および、緑の党と連携する地域組織の推薦・支持候補者リスト

(敬称略・50音順)

名前	選挙区	政党	地域組織の推薦・支持	結果
阿部とも子	神奈川 12区	日本未来の党		当選
飯田哲也	山口 1区	日本未来の党		残念
尾辻かな子	大阪 5区	民主党	緑の大阪 推薦	残念
熊野盛夫	石川 1区	日本未来の党		残念
さとう大	京都 2区	社会民主党	「緑」の京都・準備会 推薦	残念
島崎直美	北海道 9区	アイヌ民族党		残念
瑞慶覧チョービン	沖縄 4区	無所属		残念
つじ 恵	大阪 17区	日本未来の党	緑の大阪 推薦	残念
中川おさむ	大阪 18区	日本未来の党	緑の大阪 推薦	残念
中村てつじ	奈良 2区	日本未来の党	「緑」の京都・準備会 推薦	残念
初鹿明博	東京 16区	日本未来の党		残念
丸子安子	東京 5区	日本未来の党		残念
山崎 誠	神奈川 7区	日本未来の党		残念
山田正彦	長崎 3区	日本未来の党	みどり九州 推薦	残念
山本太郎	東京 8区	今はひとり	★支持	残念

## 地域組織の推薦・支持

名前	選挙区	政党	地域組織の推薦・支持	結果
小谷まなぶ	福岡 2区	日本未来の党	みどり九州 支持	残念
すえつぐ精一	長崎 4区	日本未来の党	みどり九州 推薦	残念
中島たかとし	熊本 5区	社会民主党	みどり九州 支持	残念
わたなべ英明	新潟 2区	社会民主党	緑・にいがた 推薦	残念
三浦茂樹	長野 4区	日本未来の党	緑の党・信州 推薦	残念

## ◆【見解】 総選挙結果を受けてー市民自身の手で政治を切り拓こう

(2012年12月20日 緑の党運営委員会)

第46回衆議院選挙は「自民圧勝」の形で終わりました。しかし、「圧勝」した自民党の比例獲得議席は、政権から転落した2009年時の議席と大差なく（註1）、小選挙区・比例区の得票数とともに前回を下回り（註2）、政党としての支持はむしろ低下しています。今回の結果は、投票率の低さも含め、有権者の消極的選択の結果です。多様な民意を反映できない小選挙区制度も、この歪んだ結果を生み出した大きな要因のひとつです。国の巨額の借金や原発事故など、民主党が背負った負の遺産は、自民党が作りだしてきたものであったことも軽視されるべきではありません。

しかしそれらの背景はどうあれ、2009年の政権交代で広がったかに見えた民主的な政治空間は、民主党自身の混迷とその結果としての政権再交代によって極端に狭まってしまいました。原発再稼働や改憲・安保外交問題、大型公共事業の再開など、警戒すべき多くの課題を私たちは目の前にしています。

今回は昨年の「3.11」以降初の総選挙であり、原発推進の是非をはじめ、日本社会のあり方を問うはずのものでした。しかし、有権者は既成政党の政局争いや選挙目当ての離合集散劇に辟易し、政治そのものへの不信を増大させ、多くの人々が投票を放棄して、政策課題の争点を問うような選挙とはなりませんでした。被災者の生活再建も、沖縄の基地問題も、ワーキングプアなどの問題も、放置されたままです。私たちは、脱原発を目

指す広い枠組みで東京比例ブロックなどに挑戦することを追求してきましたが、実現させることができませんでした。私たちが推薦・応援した多くの候補も当選に至らず（註3）、私たちの準備と力量の不足も重く受け止めなければなりません。

こうした中で、新党「今はひとり」を立ち上げ、東京8区で公示直前に立候補表明し、脱原発や反TPP・反消費税・反改憲などを掲げて石原伸晃氏に挑んだ山本太郎さんは、知名度だけではなく、その純粋で真っ直ぐな訴えによって多くの有権者的心を打ち、25%もの得票率を得ました。この訴えに共鳴し、多くの市民がボランティアとして参加し、生き生きと感動的な選挙戦をたたかい抜き、緑の党も事務所を提供するなど全面的に支援しました。今回の衆院選全体の暗雲のような状況の中で、ここには、私たちの未来の大きな希望のひとつがあると言っても過言ではありません。

これらの結果から、私たちは、選挙目当ての離合集散と政局に明け暮れる既成の政党や政治家に頼るのではなく、市民自身の手による政治勢力を立ち上げ、市民自身が政治を切り拓いていくことが、困難ではあってもいかに重要で必要であるか、あらためて確信するものです。

来年夏の参院選まで時間はありません。原発の是非の議論のその先にある、私たちが目指すべき社会—質素でも心豊かに暮らせる社会に向けたビジョンとそのための政策を、ストレートに、熱く市民に訴え続けることが必要です。私たちは、仲

間を増やし、日本で初めての、そして複数の「緑の党」の議席を国会の中に実現させるために、全力で取り組んでいくことを決意します。

## 註

1：比例区獲得議席は55（2009年）→57（2012年）でわずか2議席の増。

2：小選挙区は2729万票（2009年）→2564万票（2012年）で165万票の減、比例区は1881万票（2009年）→1662万票（2012年）で219万票の減。

3：神奈川 阿部とも子さん（未来）が重複立候補で比例当選したものの、それ以外の推薦候補は当選に至らず。

## 脱原発の希望をつないだ山本太郎選挙（東京8区）レポート

山本太郎さん（=写真右）は、「脱原発・反TPP・反消費税・反改憲」を掲げて、告示日前日に緑の党の事務所がある東京8区からの出馬を表明しました。全国に54基もの原発を作ってきた自民党の前幹事長、石原伸晃氏に挑戦するためです。緑の党は、すぐさま全面的な支援を表明。事務所を提供するだけでなく、全体を統括する選対事務局長の役割をはじめマスコミやボランティア対応、電話掛けから街頭演説まで実質的な選挙実務を緑の下でガッチャリ支えました。太郎さんは、昨年3月の福島原発の事故以来、俳優業を投げうって日本中の脱原発運動の現場に駆けつけて支援活動に奔走してきました。そして、「脱原発（即時廃炉）」「被災者の避難の権利」「ガレキの広域処理に反対」「子どもたちの命と健康」の問題について、市民の側に立って政府や行政、マスコミに訴えてきたからです。



### 【街頭で原発の事実を訴える】

「脱原発を表明して以来、民放のテレビには出られないから（NHKの国会中継で）、汚染の実態を暴露するために僕を国会に送って下さい！」。マスコミが伝えない、原発事故による食品などの放射能汚染の実態を街頭で伝える太郎さん。この選挙のスローガンは、「本当のことを言って、何か不都合でも？」。そのストレートで本気の演説は、集まった数百人の心を熱くしました。賛同した若いボランティアは、首都圏を中心に京都や愛媛、広島、長野、栃木など全国から集まりました。

### 【豪華メンバーによる応援演説！】

太郎さんの応援には多彩なゲストが駆けつけてくれました！都知事選の候補者、宇都宮健児さん。音楽評論家の湯川れい子さん。伝説のパンクバンド「ハイ・スタンダード」の難波章浩さんや三宅洋平さんなどミュージシャンたち。あのジュリーこと沢田研二さんも本気の熱いメッセージをくれました！反貧困で知られる作家の雨宮処凜さんや広瀬隆さん。地元高円寺の「素人の乱」松本哉さん。福島から子連れで避難しているお母さんや、緑の党会員で郡山市議の蛇石郁子さんらも、被曝を覚悟して何度も福島に入っている太郎さんを心から応援してくれました。



### 【脱原発の意志をつないだ！】

選挙の結果は、原発政策を推進してきた自民党が圧勝し、脱原発票の受け皿を目指した日本未来の党をはじめ多くの候補者が落選してしまうという残念なものでした。山本太郎さんも次点で落選でしたが、終盤に近づくほど支援が広がるという善戦で、2週間の選挙戦で7万票を超える票を獲得！参院選に向けて、多くの有権者による「脱原発の意志」をつなぎました。  
(緑の党運営委員 郡山昌也)

報道情報

衆院選 山本太郎さん報道

緑の党が全面的に支援した山本太郎さんの善戦は、「脱原発 意志つなぐ」という見出しで大きく報道されました。

12年(平成24年)12月17日(日曜日)

三

完

新

四

(203種新門類認可)

# 脱原発 意志つなぐ



「投票してくれた人たちには、光みたいな存在」と話す山本さん=東京都杉並区で

2012年12月17日

東京新聞

山本太郎さん「手応えあつた」  
落選も7万票

を訴えうる子や集会」  
出立する中、法連た  
は「匿名の不」とては  
原発を訴えるのでな  
く、「一人一間」として  
戦いたかった。来年の  
参院選、都議選など、  
自分も含め候補者の仲間  
が立候補でござば」と  
笑顔を見せた。  
参加する中、法連た  
は「匿名の不」とては  
原発を訴えるのでな  
く、「一人一間」として  
戦いたかった。来年の  
参院選、都議選など、  
自分も含め候補者の仲間  
が立候補でござば」と  
笑顔を見せた。  
出立する中、法連た  
は「匿名の不」とては  
原発を訴えるのでな  
く、「一人一間」として  
戦いたかった。来年の  
参院選、都議選など、  
自分も含め候補者の仲間  
が立候補でござば」と  
笑顔を見せた。

◇  
保守王国の壁は崩れなかつた。山口一区で自民党副総裁の高村正彦さんに敗れ、比例でも復活を果たせなかつた。日本未来の党代表大行の飯田哲也さんは「準備不足の中で、無党派層が動ききらひなかつた」と振り返つた。

◇  
保守王国の壁は崩れなかつた。山口一区で自民党副総裁の高村正彦さんに敗れ、比例でも復活を果たせなかつた日本未来の党代表大行の飯田哲也さんは「準備不足の中で、無党派層が動ききらひなかつた」と振り返つた。

## 世界のみどり

## ドイツ党大会に参加／フランス書記長来日

世界各地の緑の党のニュースや、「緑の党 Greens Japan」と世界とのつながりを紹介します。

### ■ ドイツ緑の党大会に参加

長谷川羽衣子共同代表のスピーチに大きな拍手

11月16日～18日にかけて、ドイツのハノーバーで開催されたドイツ緑の党全国大会に招待され、共同代表の長谷川羽衣子、運営委員長の漢人明子、国際局長の郡山昌也の3人が参加。最終日の長谷川代表のスピーチは、大きな温かい拍手で迎えられました。

### <スピーチ原稿>

こんにちは、みなさん。日本緑の党の共同代表、長谷川羽衣子です。この党大会にお招き頂きましたことに、心からお礼を申し上げます。

みなさん、今、正に日本は岐路に立っています。

ご存じの通り、昨年の3月11日、日本で福島原発事故が起こりました。

これから生まれる子どもたちは、生まれながらに、大きく重い負の遺産を背負うことになったのです。

事故のあと、各地で若者たち、若い母親たちが立ち上がり、原発の廃止を訴えました。私も、そのなかのひとりです。

しかし、立ち上がってはじめて、長い保守政権の支配の中、私たちがいかに非民主的な状態に置かれているか、気付きました。私たちの国に、本当の民主主義はまだ実現していません。

20万人以上が参加した反原発デモすら、ほとんどのメディアは報道せず、政府は人びとの声を完全に無視したのです。



この不当な状態を変えるには、政治を変える以外ありません。そのためには、私たちも7月末、日本で緑の党を結成しました。そして、来年7月の参議院選挙にチャレンジします。

しかし、ここでも不正な法の厚い壁が私たちの行く手を阻みます。国政選挙にチャレンジするためには、新しい政党は、1億円以上の資金を用意しなければならないのです。

私たちが進もうとする道はあまりに険しく、時に、不可能だとすら感じます。

しかし、私はこの3日間、ここで、多くの希望をみなさんから頂きました。原発をなくし、再生可能エネルギーで電力を賄う、具体的な政策と行動。そして、その政策が人びとの支持を集め、保守王国であったバーデン・ヴュルテンベルク州やシュトゥットガルト市ですら、緑の党が選ばれたという事実。そしてこれほど多くのひとたちが集まり、参加型民主主義を実践しながら、次の政権を担おうとチャレンジを続けていること。これは、私たちにとって大きな、大きな希望です。

私は、これらの希望を持って日本に戻ります。そして、緑の仲間たちに、声をあげはじめた母親たち、若者たちに、この希望を伝えます。

そして、これらの希望を胸に、全ての原発を廃止し、本当の民主主義を実現するため、緑の仲間たちと共に、長い長い道をあきらめることなく、歩き続けます。

来年の選挙での、みなさんの勝利を心から願っています。それはドイツだけではなく、日本の、そして世界の希望となるでしょう。

ありがとうございました。

## ■フランス緑の党パスカル・デュラン書記長来日 「日仏の脱原発の連携を」

脱原発世界会議（12/15-16）に来日したフランス緑の党（ヨーロッパエコロジー・緑の党）のパスカル・デュラン書記長が、12月21日に緑の党事務所（東京・高円寺）を訪れ、また26日には尼崎市役所に稻村和美市長を訪問し、それぞれ懇談の場を持ちました。

フランスでは、今年、大統領選挙と下院（国民議会）選挙が行われましたが、デュラン氏いわく「悪いキャンペーン」の結果、緑の党は大統領選では票を伸ばせず、下院選も目標に至らなかったとのこと。

しかし、緑の党は、大統領選の決選投票で協力した社会党オランド大統領のもとで、前書記長のセシル・デュプロ氏など2人が入閣し、その後の下院選は、小選挙区制のため、社会党との協力で18議席を得て、議会内会派に必要な15議席を初めて上回りました。

フランス社会党は原発推進の立場ですが、緑の党が連立政権に入る中で、現在75%の原発依存度を2025年までに50%に引き下げる政府方針を確定させたとのことです。

原発推進国であるフランスでも、市民意識は「脱原発」が多数派なのに、投票行動は経済など

他の選択基準が優先するという、日本と同じ課題を抱えているとのことで、連携した取り組みの提案がありました。

そのためにも、参院選で議席を得て、日本にも緑の党を政党として登場させることが必要です。

デュラン氏は、2009年に旧緑の党が環境市民運動との合同名簿で欧洲議会選挙（比例代表制）で議席を大きく伸ばし、現在の「ヨーロッパエコロジー・緑の党」が結成される過程で、環境NGO側から、緑の党に参加した中心メンバーのひとりです。

既成政党とは異なる、緑の党としての組織運営の特徴についての意見交換も行いました。

日本でも悩みの「連合か単独か」については、「理念を大切にする少数派としての政治姿勢」を確認しつつ「少しでも前に進むかどうかの選択」を常に考えることだとアドバイスがあり、また、「NGOから参加した自分が書記長を引き受けるにあたり『敵は結束しているのに、私たちがバラバラでは勝つことはできない』と話した。結束に必要なのは『愛』だ」とも語られました。

\*写真は尼崎市役所にて。前列左から2人目がパスカル・デュラン氏。



## 私の街に“緑の党”ポスター大作戦にご協力を！

2013年7月の参議院選挙（比例区）では、政党名がどれだけ浸透しているかが重要です。駅周辺や商店街、カフェや自然食のショップなどに貼って、日本にも“緑の党”があるんだと、有権者のみなさんに知ってもらうために、ぜひご協力ください。

- 大きさ：A2版（ほぼ新聞紙大）
- 素材：ユポ（雨風に強い素材です）

\*ポスターに関するお問合せは事務局まで

\*ホームページからご自由にダウンロード・プリントしてご活用ください。

## みどりの仲間

## みどり福岡／緑の党・九州連絡協議会

各地で活躍する緑の党の仲間の情報を掲載します。今回は、九州・福岡から。

みどり福岡の設立は2006年2月。きっかけは2つありました。1つは2004年7月の「みどりの会議」の参院選。候補者だった足立力也さんを中心に「次こそ緑の党的な国会議員を！」と、そのときの仲間が残って活動を続けてきました。もう1つのきっかけは、2007年4月の福岡市議選。今もそうですが、福岡市議62名のうち、緑の党的な議員は荒木龍昇議員1人のみ。福岡市議会の場合1人では会派を作ることができず、対外的には「無所属」という扱いにしかならないため、何とか市議を複数化しようと挑戦を続けています。2007年、2011年と複数化は叶っていませんが、2015年を目指して活動しています。

そんな私たちの目下の目標が北九州市議選（1月18日告示、27日投開票）です。無所属での挑戦ですが、この1年「がれき問題（震災廃棄物の広域処理問題）」について3児の母として市民運動を続けてきた村上さとこさんを、みどり福岡として支援しています。福岡第2の都市（九州第2の都市）で緑の党に共感する市民派議員を誕生させることは、7月の参院選にも弾みがつくと考えています。なによりも、全会一致でがれきの受け入れに賛成した北九州市議会の中に、市民目線・女性目線で働く議員が1

人でも誕生することは、非常に意義が大きいと思っています。

さて7月の参院選ですが、避難ママたちが作った「ママは原発いりません」や、写真家・亀山のこさん（「100人の母たち」作者）、ウインドファームの中村隆市さんたちの協力もいただきながら、「九州から緑の党的な国会議員を誕生させよう」と頑張っています。まだ九州にはみどり福岡と、緑の党おおいた（2012年9月結成）しかないのでは、九州をつなぐ緩やかなネットワークとして「緑の党・九州連絡協議会」（通称：みどり九州）を昨夏に立ち上げました。みどり九州は会費なしでご加入いただけます。九州の会員・サポートー・賛同人の皆さん、ぜひみどり九州にも参加いただいて、一緒に参院選を戦っていきましょう！

（みどり福岡代表 本河知明）

## 【みどり福岡の連絡先】

福岡市早良区有田5-17-7

荒木事務所 気付

090-6426-0901 (本河)

greens\_fukuoka@yahoo.co.jp

(本河)

\*写真は緑の党・九州連絡協議会の共同代表。左から荒木龍昇（福岡市議）、歌野礼（新上五島町議）、神田京子（緑の党・おおいた共同代表）、野口英一郎（鹿児島市議）

★緑の党にご入会ください★



①振込または手渡しにて会費の納入をお願いします（振込先はページ下）。

\*年額1万円（サポートー:3千円）

\*サポートーは総会時に議決権がありません。

\*会費年度は1月～12月です。その年度毎に会費を納めていただくことになります。ただ今年は7月の参院選までに多額の資金が必要なため、できれば6月まで早めにお願いできると助かります。

\*減免制度については、事務局にお問い合わせください。

②ホームページの入会申し込みフォームに必要事項をご入力ください。または事務局にお問い合わせください。



〒166-0003

杉並区高円寺南4-7-1

藤和シティコープ春木屋ビル

202

TEL 03-6454-6068

FAX 03-3318-6063

E-MAIL greens@greens.gr.jp

<http://greens.gr.jp>

カンパ募集中

2013年 参議院選挙挑戦！

郵便口座 ゆうちょ銀行

口座番号：00100-9-262967

口座名称：緑の党

他金融機関からの振込の場合

口座種別：当座預金

店名：〇一九

（ゼロイチキュウ）

口座番号：262967

\*ゆうちょ口座からゆうちょ口座へATMで振り込むと、手数料が無料になります（再来年まで）。